

城東地区社会体育振興会二十五周年

表彰状

城東地区体育振興会

貴団体は長年にわたり社会
体育の普及振興に尽力し他の
模範とするに足る功績を
あげられました

よってこれを表彰します

平成十四年九月十七日

群馬県教育委員会

教育長 高井健二



● 目 次 ●

実行委員長 第十五代会長	設樂 裕五	3
会長 反町 正	4	4
城東地区区長会会長 吉井 辰雄	5	5
高崎市立城東小学校長 新井 博	7	7
元城東公民館主事 現情報政策課長	8	8
P.T.A.会長 反町 敏和	9	9
城東校区子ども育成会会長 橋本あつ子	9	9
初代理事長 松本 弘	9	9
第三代会長 堀口 久夫	10	10
第四代会長 五十嵐 敬	11	11
第五代会長 城田 亨	12	12
第六代会長 柴崎 嶽	13	13
第七代会長 杉田 健司	13	13
第九代会長 関口 忠史	14	14
第十代会長 尼崎 計一	15	15
第十一代会長 星野 巍	15	15
第十二代会長 伊藤 正男	16	16
第十三代会長 堀米 巧	17	17
第十四代会長 秀夫		
17 17 16 15 15 14 13 13 12 11 10 9 9 8 7 7 6 6 5 5 4 4 3 3	30 29 27 26 25 25 24 23 22 22 21 20 19 18 18	
社体振 理事 小林 公博		
理事 千明 君江		
体育指導委員 須田 貢		
体育指導委員 高橋 昌司		
ソフトボーラ審判員 加辺 鉄男		
岩押第一協力委員 鳴田百合子		
協力委員 石井 隆		
協力員 土屋 光子		
協力委員 茂木 静子		
協力委員 菊地 澄子		
東町第一振興委員 有野 良江		
江木五振興委員 志田 克二		
栄町振興委員 春川 宣充		
球技大会		
城東地区社会体育振興会の変遷		
歴代本部役員		
編集後記		



創立二十五周年誌 発行によせて

実行委員長第十五代会長 設 樂 祐 五

昭和五十三年四月に城東地区社会体育振興会が創立され、ここに二十五周年を迎えることができました。

昭和五十三年と言えば、イラン革命による第二次石油危機の時代であり、高度成長期から安定成長にへと大きく転換する時期でもありました。また、「地方の時代」の到来がマスコミにも取り上げられ、地域活動の活性化するころでもあつたと思います。

このような時期に、地域のスポーツ振興を願う諸先輩方が、額に汗して球技大会の実施などで、誰もが気軽に参加できる雰囲気づくりに努めた結果、多くの参加者を得ることに成功し、区長会のご理解を得て当会の発足にこぎつけることになりました。その後、関係者のたゆまぬ努力と活動により、現在の社会体育振興会が存在しているわけで、長年にわたる関係各位の活動に敬意を表する次第です。

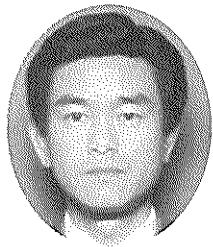
今日まで四半世紀にわたり、役員・関係者をはじめ十九町内の多くの方々が積極的に活動に参加され、素晴らしい「社体振」が継続、発展していると思います。折しも創立の中核を担つていらした須田貢氏から、長年の活動が評価され、県の表彰対象にあがつているとの連絡を受け、関係手続きをとることになりました。そして、去る平成十四年九月に群馬県庁正庁の間において立派な表彰状頂いてまいりました。

このたび城東地区社会体育振興会の創立二十五周年記念誌発行にあたり、長年にわたり本会のためにご尽力いたいた諸先輩方、そしてこの間に賜りました関係団体、関係各位にご支援、ご協力に對し心より感謝申し上げるとともにあらためてここにご報告させていただきます。

少子・高齢化が進行し、一方では核家族が進む状況のもと、当城東地区も例外でなく、各種行事への参加者は減少傾向にあります。そのため、そのような状況であるからこそ、地域に根ざした「社体振」はなくてはならない存在であり、各団体との連携を密にして団体相互のネットワークづくりのため、リーダーシップの發揮を求められていると思います。

四半世紀にわたって五千予の世帯とともに営々と培つてきた「社体振」の活動は、豊かな地域社会の実現の歴史でもあります。ともに守り、育てるその活動を次の世代の人々に引き継ぐことは今の私どもに課せられた大事な責務です。二十五周年をひとつの節目として、これを契機に城東地区が一体となつて今後の活動に邁進することを、ここに決意するとともに、皆様方の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

ここに「社体振」が歩んだ二十五年の歳月を振り返り、先人の功績をたたえ、併せて今後の活動の糖とするため、「二十五周年記念誌」を発行いたします。ご高覧いただき、感想など賜れば幸いと存じます。



社会体育振興会 二十五周年に寄せて

正 町 反 会 長

城東地区社会体育振興会も創立より四半世紀を迎えることができ、これも地域の皆様のご支援、ご協力と会の創立以来、ご尽力されて来られた役員の方々のご努力によるものと心より感謝を致しております。

本会は、地域スポーツの振興と、城東地区在住の方々のスポーツを通じての交流の場を確保することを目的に活動を致しております。

年間を通してソフトボール大会、卓球大会、バレーボール大会、スマイルスポーツ大会、体育祭、ボーリング大会など様々な競技を開催しています。

各大会に於いては、地域の各クラブの方々の協力を得ながら開催をしています。スマイルスポーツ大会は、生涯スポーツを競技種目とし、近年では、地域町づくり推進事業の協賛事業ともなっております。体育祭では、会場準備運営に各団体の協力をいただき参加された地域の方々が楽しい一日を過ごしていただけることに感謝いたしております。

地域行事としては、城東地区交流芸能祭、城東小学校のバザーなどに、協力をさせて頂いております。特にバザーでは、餅つきやイカ焼きの模擬店を出店いたしまして好評を得ております。地域の皆様には本会の活動の趣旨をご理解ご協力を頂いておりますが、もっと多くの方が参加され、交流と触れ合いの場が作れる様、役員一同頑張っていきたいと考えております。

平成十四年九月十九日には、群馬県教育長より体育優良団体として表彰状を頂き、これまでの功績と本会の重要性を改めて痛感いたしました。

この素晴らしい会の一員としての活動の場を与えて頂き、感謝を致しております。

城東地区社会体育振興会が地域の皆様の交流の場として又、愛される団体になる様、活動を推進してまいりますので、此れからも、ご支援、ご協力を宜しくお願い致します。



城東社体振 二十五周年に寄せて

城東地区区長会会長 吉辰雄

このたび城東地区社会体育振興会「創立二十五周年の記念事業」として「記念誌」を発刊されるそうで、誠におめでとうございます。

実は城東小学校の開校三十周年記念誌の六十ページのなかに当時社体振の副会長をされていた須田貢さんが書かれた記事を見まして発足当時の苦しい様子がよくわかります。

昭和五十三年四月十四日に設立され、社体振主催の体育祭の写真も見ました。その後実践と反省を繰り返され会則の改正とともに独創性を生かし、現在のような素晴らしい社体振が築かれたと思います。その二十五年の長い実績が評価され、県教育長から、社会体育振興会優良団体表彰を受賞されたと思います。

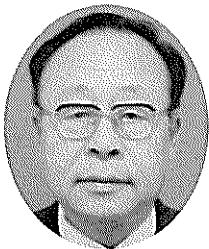
私もお陰さまで平成八年四月に城東地区区長会の会長に就任してから八年の歳月が過ぎ、始めてお手伝いできたのが体育祭の表彰状を書かせていただいたことです。そして歴代の会長さんや多くの役員さんとお付き合いをさせて戴き大変に人生勉強になりました。これからも元気で居る限り小さなお手伝いですけど協力していきたいと思っております。

実は、昨年の体育祭に東町一町内会のみなさんが曾根区長さんを先頭にして、テントまで作り参加した姿を拝見し感動しました。そうだ、これだと気づいたので、今年は町内会の総会で東町一町内会の体育祭に参加した様子を説明して理解をしていただき実行委員会を結成して体育祭に参加したいと思います。

それから年度はわかりませんが十年くらい前になると思います。社体振主催の日帰りコースの白根高原行に参加した写真がありましたので提出いたします。写真右側に小さく写っている人は、元社体振会長の関口さん、隣の若い女性は、わかりません。写真中央の立っている人は、元江木西区長の小板橋さん、右隣の人は元城東地区婦人消防支部長の宇田川ハナさん、中央が私です。小板橋さんの左隣の女性が判りましたら知らせていただきたいと思います。

お陰様で懐かしい写真を見ることができました。これからは、地域全体で協力して、社体振を盛り上げて県の表彰を汚さない為にも助け合い城東地区社会体育振興会のますますの発展と創立二十五周年記念事業の成功を心からお祈りいたします。





社体振と公民館

城東公民館長 伊藤 正男

社体振創立二十五周年に寄せまして、一言お祝いを申し上げます。

「スポーツ活動を通じ地区住民相互の健全な心身の発達を促し明るく活発なコミュニティー活動の機会を形成する」（会則第二条）ことなどを目的として社体振が発足して、はや四半世紀がたつたわけです。

これまで社体振の活動に携わって諸事業の企画・運営をしてくださった役員さん達のご苦労に對しまして感謝したいと思います。

さて、社体振の活動目的を考えますと、社体振はただ単に地域の社会体育を振興させて成人のスポーツの場を企画・提供するだけにとどまらず地区住民相互の活発なコミュニティー活動の機会を提供しようということです。

一方、「地区公民館」の目的は「地域のまちづくり及び生涯学習の推進」にあります。

その観点から考えた時、社体振の活動は地域のまちづくりの推進に大きな貢献をしていると思います。このことは公民館の活動目的とも期せずして合致しております。

ところで、高崎市は平成十三年から「地域まちづくり推進事業」を始めました。これを受けて城東地区では社会体育振興会の全面的な協力のもとに、社体振主催事業の「スマイルスポーツ大会」を同事業の中核の一つに据えさせていただき現在に至っております。

このように社体振は城東地区にとって、もはや不可欠な「団体」の一つになつております。改めてその活動に敬意を表します。

大変でしょうが、今後とも城東地区の「まちづくり」推進のために、さらなる活躍をしてください」とを期待いたします。



社体振に関わっての 思　い　出

高崎市立城東小学校長 新井 博

私が城東地区社体振に関わったのは、本校の教諭として赴任した昭和五十二年の四月からでした。

その当時のPTA役員はもちろん、育成会、社体振の役員さんたちは、草々たるメンバーでした。すでに亡くなられた方もおりますが、今でも親しくしていただいている方々がたくさんいて、学校経営をしていく上で、心強い応援団となつていてくれます。

私の社体振の思い出は、木造校舎時代に、年中行事のように実施された「盆踊り大会」とバザーの時の「もちつき大会」です。

木造校舎時代の校庭は、南北に広がり、そのど真ん中に「やぐら」を立て、城東盆踊り独特のちようちんや飾り付けて、城東地区を挙げての賑やかな盆踊りでした。

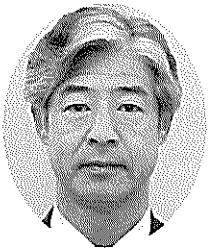
また、バザー時に行われた「もちつき」の行事は、古い体育館（現プールになつてある所）の南側で、掛け声も大きく、威勢のよい「もちつき」大会でした。その当時の金井会長（故人）や、多くの役員さんたちの顔が走馬燈のように思い出されます。

社体振が主催する「城東地区体育祭」は、小学校の「運動会」に劣らない参加者と観衆があり、熱のこもつた大きな体育祭になつていきました。

このように、地域挙げての取り組みが行われている中で、学校側にも強い参加要請があつたりして、役員さんたちと意見の食い違いをする場面もありました。当時、若かった私も、その話し合いに参加したりしながら、社体振の行事に、取り組んだことを覚えています。

城東小を離れて、十年後に教頭として本校に赴任した時、当時の社体振に参加していた方々から、大きな歓迎を受けたことを有難く思いました。そして、本校創立四十周年の記念行事として、「夏の盆踊り大会」が企画され、夏休み中のお盆休みに実施され、賑やかに、大成功で終わりました。その盆踊りの中心になつて活躍してくれたのが、かつての社体振の役員さんたちでした。そして、さらに、十年が経過し、三度城東小に赴任して来た私は、社体振が健全に機能し、地域から信頼を得た活動を開拓していることに感激しました。

城東地区社体振は、年間を通していろいろな行事に取り組み、地域の活性化に大きく貢献しています。こうした活動は、他地区には見られないことだと思います。それだけに、城東地区（城東小）への「思い」のほどを感じることができます。これからも社体振の益々の発展を願つてやみません。



城東地区社会体育振興会の設立当時を回想して

元城東公民館主事 現情報政策課長 神 宮 和 夫

光陰矢の如しとは申しますが、四半世紀前の途切れ途切れの記憶の中その断片を追つてみますと、社会体育振興会設立のきっかけは、昭和五十一年当時、旧公民館を活動拠点とした社会教育事業の参加者のコミュニケーション機会として、城東小学校PTAや地区育成会の皆さんと行つたスポーツ交流が根底にありました。

そのころの社会教育事業といえば家庭教育学級のように、テーマを設け講師の話を聞く学習を中心でした。しかし、学習も大切だが、地区民老若男女大きな輪の中で、互いに汗を流し、和気あいあいの中お互いを知り、結果親同士、子供同士、そして大人と子供との日常の地域コミュニケーションが創造できたら、子どもを育てる、また互いに助け合える良好な地域環境が生み出せるのではないかと考えました。そんな気持ちを育成会やPTAの関係者に相談したら、もつと自分たちもエンジョイできるレクリエーション的スポーツ交流をやってみようということになりました。

折しもその時期、児童にソフトを指導する人やママさんバレー、ボールを主催するスポーツに熱心

な方々の協力も得られ、早々町内対抗のソフトボールやバレー、ボール大会を開催することになりました。

大会は毎年盛り上がり、その後恒例となりました。これらの大会が契機となり、ほかのス

ポーツも！しかも、しつかりとした組織母体を持つて！と、暇さえ見つけては昼夜を問わず、時に酒

を酌み交わしながら、催しもの内容や組織体制について話し合いました。

その中、スポーツ行事に限らず盆踊りやたかさき祭りへの空き缶神輿参加も行いました。

その当時は、社会体育というはつきりと確立したものはなく、暗中模索の中どうすればうまくいくのか皆さんと頭を悩ました。社会体育は、あくまでも社会教育の一部分をなす生涯学習手段としての位置づけしかなく、主体とならないものとして受け止められていました。この頃、昭和五十年（一九七五年）五十三年の時期が、正式な組織としての社体振ができる前の胎児期でありました。

社会体育振興会という正式な組織体制になつたのは、今から二十五年前の昭和五十四年が初年度

でした。発足当時は、地区の育成会と城東小学校PTAの会員やOBの方々を中心として、幹事役

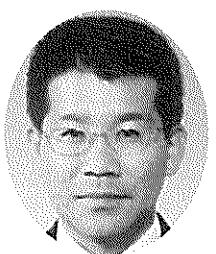
を務める有志と各町内会の振興委員さんが運営メンバーとなり各スポーツ行事を開催しました。

恒例のソフトボールやバレーボール大会はもちろん、地区挙げての体育祭、卓球大会、ゲートボール大会等々を行いました。関係者の熱の入り様は大したもので、体育祭などは、種目選びやその小道具作り、賞品集めなどなど、開催前の何週間は自分の仕事そっちのけで頑張っていました。

このように、高崎市で初めての社会体育振興会は、多くの熱心な人たちの縁の下の力の結集から生まれたものでした。

最後に、二十五年という長い年月の中いろいろ経余曲折もあつたかと思われますが、今も盛んな活動をされている皆さんに敬意を表し、二十五周年のお祝いとさせていただきます。

社体振創立
二十五周年に寄せて



PTA会長
反町敏和

この度は創立二十五周年及び社会体育優良団体の表彰と重ねてお祝い申し上げます。

私もこのすばらしい城東地区で生まれ育ち、そしてまた自分の子ども達が元気に育ませて頂いていること、とても幸せであり誇りに感じております。PTA活動に携わり四年が経過し、その中の数々の各種行事において社体振の存在の大きさを痛感しております。

体育祭では、子どもからお年寄りまでが一緒になつて競技や応援する姿に思わず笑顔がこぼれてしまします。また、「ふれあいバザー」での豪快なもちつきや球技大会での審判団など、各行事に箔を付けて頂いていると思います。

この二十五周年を一つの節目に、さらなる地域連携の要として発展されることを祈念し、また、今後とも我々PTA会

一年間、育成会長を勤めさせていただき、社体振のいろいろな行事に参加させていただきました。

なかでも、一番楽しかった思い出は、ソフトバレーボール大会です。大きなボールと悪戦苦闘した思い出は、忘れることができません。まるで、学生時代に戻ったかのように、真剣にボールを追つていました。簡単そうにみえても、普段スポーツをしていない私にとっては、とても大変でした。そして、普段から体を動かすことの重要性を肌で感じた一日でした。

社体振は、地域の中で、誰でも楽しめるスポーツを教えてくれる素晴らしい団体だと思います。

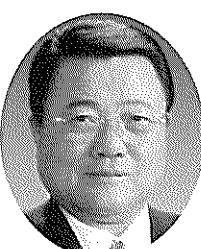
これからも、私達にいろいろな楽しい

社体振の思い出



城東校区子ども育成会長
橋本あつ子

創立二十五周年に寄せて



初代理事長
松本弘

城東地区社会体育振興会も発足以来二十五周年を迎えられ、誠に慶賀に存じ心より御祝い申し上げます。

振り返りますれば、とても長い期間にも感じ、又最近の様にも感じられます。正直に申して良くぞここまで長く続けられたものだと感服して居ます。

物事を興すことは簡単ですが、それを続けることの大変さは並大抵の事ではありません。“継続は力なり”と申しますが正にその通りだと思います。これも一扁に区長会を始めPTA、育成会それに各種団体の皆様のご協力を得て歴代の役員又は各年度の役員全員が一丸となり一生懸命に並々ならぬ努力をした結果であると心から敬意を表します。

今之城東地区は、戦後日本経済が急成

員の良き先輩アドバイザーとしてご指導頂けますようお願いいたします。

スポーツを教えて下さい。よろしくお願ひ致します。

長し、市の中心に住んで居られた方や他の市町村に住んで居られた方達が沢山家を新築して移住して来まして所謂ドーナツ化現象と云つて所帯数も増加しベビーブームの時の子供達が小学校に入学する頃でしたから、その頃は東小学校、塚沢小学校、佐野小学校、一部南小学校に通して居りました。

しかし、その各校とも生徒数が飽和状態になり、急遽城東小学校が建設され、したがいまして今の城東小区域が誕生しました。生徒数も一時は千人を超す時もありました。

しかし、昔から住んで居られた方同士は親しく交流はありましたが新しく住み着かれた方とのギャップ、新住民同士の交流もあまりなく、"隣は何をする人ぞ"と云う状態でした。

この現状のままで良いものか?こんな事は遭つては成らぬ事ですがもし何処かの家が火事になつた時、親しい知人の家であれば直ちに駆けつけ、家具を運び出したりお手伝いをすることでしょう。

親しく交流を持ち、お互に困つた時に助け合い明るくそして楽しく、この城東地区に住んで本当に良かつたと、しみじみと思える素晴らしい地域にするにはどうしたら良いかと今は亡き初代会長の

金井正男様と当時公民館の主事の神宮さん、その他四~五人で私の家で夜の更けるのも忘れ激論を交わし、神宮さんは私の家に泊まり、朝直接公民館に出勤したこともありました。

体育、芸能、文化等を通して、住民の交流と親睦を深めようと大きな夢と希望に燃え、先ず手始めに体育の振興からスタートしたのが始まりでした。最初の年は、春と秋に男子はソフトボール、女子はバレー・ボール大会を行い、予算は全くございませんでしたので、受益者負担で参加者一人につき貰百円戴き運営しました。二年目から大運動会(今の体育祭)を開催することになりました。

その頃は、まだ好きな者が勝手に行つてている任意団体ぐらいの評価でしたから、各町内からの助成金も市からの援助金もございませんでした。各企業からの賞品を寄贈して戴き不足分は買い付けて来て運営したものですから当然赤字が生じました。これを十二月一日にクリスマスダンスパーティーを催し、チケットとビルとジュースを当日会場にて販売し、その益金で体育祭のマイナス分に補填したのでした。

この様な事を四年間繰り返して居りましが、区長会の会議に金井正男様と私が開催され大盛況のうちに終了したのをきっかけに、同五十一年十月、各町内の

と二人で出席し、体育振興会の趣旨を丁寧に説明させて戴き、お願ひ致しました処、援助して下さることになり、今日に至つて居ります。

今日の体育振興会があるのも金井正男様の素晴らしいリーダーシップと発会當時の公民館主事の神宮さん、そして何と申しましても長い間須田貢様の体育指導員としてのご活躍が一番重要であつたと同時に貢献度は計り知れないものがあると心より敬服してやみません。

終わりに城東地区社会体育振興会の更なるご発展を祈念申し上げ二十五周年のお祝いの言葉と致します。

創立
二十五周年に寄せて



第三代会長 久夫
堀口

昭和四十九年城東小創立二十周年記念行事の一環として、「町内対抗大運動会」が開催され大盛況のうちに終了したのをきっかけに、同五十一年十月、各町内の

区長さん、城東小PTA、育成会の役員が中心になり高崎競馬場に於いて、初めての「城東地区町内対抗球技大会」が開催され、男子はソフトボール、女子はバレーボールの二種目が行われました。

私も町内の回覧板を見てソフトボールに参加を申し込みましたところ、十六町内から二十六チームの参加があり大盛況でした。

私は高闘町内から監督兼選手として出場し北双葉チームと対戦したところ、試合中ピッチャーフェンシングの打球を顔面に受け救急車で病院に運ばれ一日入院した苦い経験をしました。

大会終了後前記の役員さんが中心になりましたり準備委員会を発足させ翌年4月初代会長の金井正男さんが中心になりPTA、育成会の役員を主体に、会則の作成、役員の選出等、組織作りに取り組んで、「スポーツ活動を通じ地区住民相互の親睦をはかり、健康と体力の増進をはかる」とをスローガンに同五十四年三月に正式に城東地区社会体育振興会が発足しました。

私も発足当初から本部の書記として参加し、金井会長のもとにソフトボール、バレーボール、卓球、体育祭、バドミントン、ボウリング、忘年パーティ、元

旦マラソン等の行事を行い、同五十六年から地域との繋がりを強固なものにするために区長会にお願いし、各町内からの戸数別の助成金をお願いして了承していただき、区長会長を体育振興会の会長とする会と、運営面では理事会を中心に行事の企画、立案、実施活動をする理事会との二本柱が確立されました。

それから四年間松本理事長を中心に納涼祭、ゴルフ大会、ファミリーソフトボール大会等、新しい行事を取り入れて一人でも多くの地区民の参加を願つてきました。

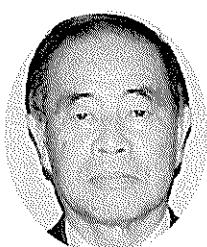
しかし、昭和六十年、私が会長になつた年から区長会より、実質的に運営面ではあまり携わっていないので、諮問委員会で側面的に応援する方が適当ではないかという意見が出され、執行部で協議した結果、町内の振興委員及び理事を中心にして、会を一本化した組織に改革しました。

そして、私が会長になつた、同六十年は4月に女子バレーボール大会、九チーム参加、六月に男子ソフトボール大会、十八チーム参加、八月と九月に市民祭男子ソフトボール、女子バレーボール大会が、そして八月末には第二回目の城東地区盆踊り大会が城東小学校で行われ大盛況でした。九月に入り中央体育館でバ

ドミニントン大会、五十二名参加、十月十日には恒例の体育祭、同月ゴルフ大会、四十名参加、ファミリーソフト大会、一チーム、十二月卓球大会、二十四チーム参加、十二月忘年パーティー、百六十名参加、翌年二月ボウリング大会、百二名参加されました。

この頃は平均月一回位の行事を行い年間十二回、参加者も大変多くの参加者がいました。

創立二十五周年によせて



第四代会長
五十嵐 敬

創立二十五周年おめでとうございます。

昭和五十一年より町内対抗ソフトボール大会が開催され、これを基に体育振興会結成の機運が盛り上がり、昭和五十三年体育振興のみならず社会振興も計るとの思想で「社会体育振興会」として発足したと認識しております。当時の背景として、育成会、PTAの旧態からの脱皮と活性化、少年野球チーム、スポーツ少年

団の発足等があり、それぞれ多くのスタッフに恵まれ、垣根を越えて協調体制がとれたのが一気に結成できた要因と思つております。

結成後の地区大運動会、各種団体参加の榛名湖畔宿泊研修会をはじめスポーツ種目の拡大、折々の盆踊り大会等いろいろとアイデアが実現されました。これも時、人、地域のニーズが合致し、何よりも創り出す楽しみがあつたからできたの

でしよう。

しかし、時の流れと共に地域のコミュニティのあり方が変わつてしまつた今、この流れを継続する事は並大抵ではありません。今日まで人々と行事を引継ぎ成果を上げていただいた役員、関係各位に敬意を表すと共に二十五周年を節目に現状を見直し、新たな流れの中で地域の中心として更なる発展、ご活躍を祈念してやみません。

「私は、六十二年度第五代会長に就任し、「諸行事積極的参加」をスローガンに掲げてスタートしました。

思い出のひとつとして、城東小の改築が始まり記念行事として城東祭りを行う事になりました。開催場所の校庭が使用出来ないため、公民館北側空き地を使うことになりました。

電気、水道、トイレがないのが一番頭を悩ませました。この悩みを解消して下さつたのが、元区長会長の広田平一氏でした。

電気、水道、

音頭、笛、太鼓、

模擬店、

P.T.A、

育成会、

各種団体

スイカ食べ放題、

大栄市場

電気・

東京電力東町

電気設備、

岸電工

水道仮設、

社体振他

テント、

椅子他、

城東小

舞台造り、社体振、各種団体

感謝と思い出



第五代会長
城 田 亨

城東地区社会体育振興会関係者の皆様二十五周年を迎える他の地域に勝る意義ある記念誌発行、誠におめでとうございました。また、長年に渡り献身的努力と地域活動が群馬県にも評価され表彰を受けるということは二重の喜びと、歴史に残る

「私が責任を持つから自信を持って活動

城東祭り（盆踊り大会）
場所・城東公民館北側空地
踊子コンテスト（表彰）
仮装大賞他

音頭、笛、太鼓、

模擬店、

P.T.A、

育成会、

各種団体

スイカ食べ放題、

大栄市場

電気・

東京電力東町

電気設備、

岸電工

水道仮設、

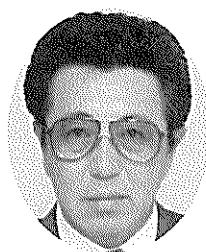
社体振他

テント、

椅子他、

城東小

城東社体振は 永遠に不滅だぞ



第六代会長
柴 崎 晟



作りをと発足した会でした。

先輩達が熱く燃えて当時の公民館主事（市職員とはとても考えられない我を忘れて土、日祭の催しにも必ず参加した方）と連携して地域の親睦を考えて盛り上げた事を思い出します。そして当時まだ若かった私達をも夢中にさせてくれました。特に体育祭などでも骨折者が出たり、大きな傷を負つてしまつたなんて事は日常茶飯事でした。皆さんが楽しんで参加して戴くにはどんな内容がよいのか夜を徹して考えたものでした。

とにかく高崎でも初めて誕生した社会体育振興会です。皆で知恵を出し合って喧々諤々と言う感じは目に灼きついで先輩達からよい勉強をさせて貰いました。地区外の方から城東社体振の活躍ぶりを羨ましく言わると誇らしく思つたものです。そんな感じにさせてくれたのも先輩達の地域を思いやる心です。いつまでも将来に向かって引き継いで貰いたいと考えます。

私は、城東小学校の第二回卒業生です。私がではないと思いますが当時からその通りの社会ドーナツ化現象による歪みなどで子供たちが育む事に支障が出るような地域になつては困る。大人達が手を取り合い、スポーツなどを中心にした催しを企画して素晴らしい地域

いをさせてはいけないと考えます地域全く事が出来れば素晴らしい地区になると信じています。

この地区に住みたいと考えている人がたくさん居れば絶対に優良地域になります。駅にも近い好条件はあります。皆で団結してそんな地域にして行きましょうよ、そんな礎が城東社体振だと強く思っています。……城東社体振は永遠に不滅だぞ。

思　い　出



第七代会長
杉 田 健 司

平成元・二年度の会長をさせて頂きました。

当時の年間行事は、沢山ありましたが特に、大きな行事がソフトボール大会、体育祭、忘年ダンスパーティーでした。ソフトボール大会も各町内でチームを組んでの参加で、夕方遅くまでかかりま

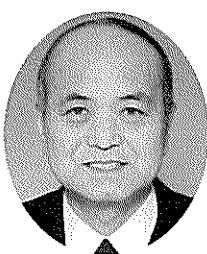
した。又体育祭で一番楽しかったのが仮装行列で、「出産から死亡に至まで」を男性は女装して、女性は男装し、私はお腹に蒲団を入れ、妊婦の役で、カツラを被り、ベッタリ化粧され、鏡を見ると結構いけて、我ながら惚れ惚れする様な姿でグランドを一周して来ました。暑さと冷や汗で大変でしたが、大受けで、地域全体が一体となり、活気あふれた楽しい行事でした。



又、十一月の忘年ダンスパーティーは、パーティーケットを出して、生バンドを入れて盛大に行われましたが、会場づくりが大変で、床に板を張りつめなくてはならず、予算は少なく、段々会場を借りるのが困難になりました。

一つ一つの行事を担当者が責任をもつて、一生懸命やつて下さった事に今、本当に感謝です。

あれ！これ！



第九代会長
口忠史

私が社会体育振興会、九代目会長に推薦されたのが、今から十二年前の事です。その前には副会長を、それ以前は、城東小PTA会長を努め上げ、今日迄二十二年間も城東地区を本陣に、よく続けられたと自分ながら関心する次第です。

歴代社体振本部も年間を通して毎月、日白押しの様に行事を企画しておりますが、その年間を通して掛かる事業費は、

各町内会から貴重なる助成金を毎年頂き、会の発展につながっております。

更には年間事業の一大イベントである毎年十月の体育の日の祝日に挙行される大体育祭の賞品、経費の捻出として城東地区在住の理解ある企業等をご芳志回りをさせて頂き、貴重なる金品を頂戴し、年間の活動費にも充当しておりますが、本当に有り難う御座います。これも一偏に各町内の方々、関係各位のご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

さて、私が船頭として船出した振興丸も、増やそう”近所なじみを“スローガンに、当時の役員さん達と初めての参加者を募る、誘う、運営に知恵を絞つた物です。

言うは易し、行うは難しだですが、人を集めると言う事は、これからも永遠のテーマです。昨今、世間一般に言われる様に、近隣との拘わりを避け、家族単位の生活を望む傾向、物のない時代のお裾分け、助け合う、これ等の精神が衣食住が豊富に成りつつある現在、稀薄になつてゐる。

どなた様も自分の家庭内の事は、真剣に取り組んでいる。その気力、余力の五万分の一でも自然に足が向いたら、城東地区社会体育振興会に振り分けて、エン

ジョイして下さい。『社体振は永久に不足です。』

結びとして、本会の行事がある日には、声を掛け合い、参加して、快適、快汗空間を積み重ねましょう。何事も体を動かす事が近い将来、どなたにも必ず来る避けては通れぬ、高齢化に寄る細胞の劣化を防ぎ、しいては、都市型犯罪の減少につながると確信したり、あれこれ自問自答の最近の心境です。

が、当時はサッカーの人気がJリーグ発足とともに最高潮でした。

体育祭にもサッカーの種目を取り入れ人気を博しました。その体育祭に群馬県出身、ジユビロ磐田の小島選手を招待し、模範演技を見せてもらったのは特別な思い出です。

研修旅行も平成五年度は北八ヶ岳の白駒池に、翌六年度湯ノ丸高原に（本番は雨のために中止）事前に下見にいきましたが、微力ながら地域社会に貢献できたことに満足と感謝をしております。

私が社体振に参加をしたのは、昭和六十二年、育成会長をしてからです。子供のための育成会から、大人のため、地域のための社体振で奉仕することになりましたが、微力ながら地域社会に貢献できましたが、満足と感謝をしております。

思　い　出



第十一代会長
星野 嶽

榛名町で生まれ育ち江木町に住み着いた昭和四十二年、社体振に関係したのが町内ソフトチーム、運動大好きで興味があり参加して頑張った。

子供の成長とともに町内の育成会に協力しつつ社体振の行事に積極的に参加、運動に対して楽しみ地域の人の触れ合い、仕事の仲間と違う付き合い、こんなところが良く社体振にとけ込んでいった。

振興委員、本部役員、大役である会長

社体振の活動は、城東小とともに歩んでいます。従つてPTA、育成会と協力して子供の成長を願い、またその子供を育てる親のつながりに視点を置いているとも言えます。

私は、平成五・六年度にかけて会長を務めました。振り返ると私も若く、がむしゃらに取り組んでいたように思います



ジョイして下さい。『社体振は永久に不足です。』

結びとして、本会の行事がある日には、声を掛け合い、参加して、快適、快汗空間を積み重ねましょう。何事も体を動かす事が近い将来、どなたにも必ず来る避けては通れぬ、高齢化に寄る細胞の劣化を防ぎ、しいては、都市型犯罪の減少につながると確信したり、あれこれ自問自答の最近の心境です。

が、当時はサッカーの人気がJリーグ発足とともに最高潮でした。

体育祭にもサッカーの種目を取り入れ人気を博しました。その体育祭に群馬県出身、ジユビロ磐田の小島選手を招待し、模範演技を見せてもらったのは特別な思い出です。

研修旅行も平成五年度は北八ヶ岳の白駒池に、翌六年度湯ノ丸高原に（本番は雨のために中止）事前に下見にいきましたが、微力ながら地域社会に貢献できましたが、満足と感謝をしております。

私が社体振に参加をしたのは、昭和六十二年、育成会長をしてからです。子供のための育成会から、大人のため、地域のための社体振で奉仕することになりましたが、微力ながら地域社会に貢献できましたが、満足と感謝をしております。

二年無事過ごさせて頂きました。役員、諸先輩、地域の方々のご指導ご協力の賜物と感謝しております。

雨の日の出来事、各行事は比較的屋外が多く天候に左右される、ある行事の時、前夜女性たちが準備したのであろうか鍋のおでん、当日雨はどうする、公民館で朝からおでんをたべた。

秋の行事のハイキングを計画したところ、多数の参加を得て、さて出発これも雨だ。尾瀬のハイキングであった。大型バスいいっぱい城東地域の人達を乗せて尾瀬に到着、雨の中ハイキングを始めた。一時間ほど歩いたか後ろから声がかかった。一緒に歩いていたが滑つて足を痛めたとか、歩けない。急いで山小屋へ担架を借りに、長い距離足場が悪いので背負い布を準備し担架に乗つてもらい、俺は体には自信があり担ごうとすると「会長はハイキングの先頭にたつていなければ」と先輩にしかられた。社体振のチームワーク、協力体制を感じ、お願いしてハイキングを続けた。

帰りは足早に戻り様子を伺つたところ、無事乗り物の手配をして高崎に送ることができたと聞き安心して下山した。これからも社体振をはじめ関連した団体、地域の方々、人と人のつながり、触

れ合いを大切にして社体振を永く守り続けていきたい。

思い出すが儘



第十二代会長
山田正男

「社体振」が発足した頃、高崎駅西口には、ダイエー、ニチイ、伊勢丹等の大型店舗や郵便局もあり、東口からは駅構内へ入場券を購入し往来する様な状態でした。

県警の音楽隊のマーチに合わせ、浜川競技場のフィールドを行進、アツと言う間の場内一周でした。初めて「市」と名

の付く大会で、ルールも全て解つていなかつたのに優勝した事もありました。

今まで数々の競技、催しに参加出来たのも基礎を築いて頂いた諸先輩の方々に敬意を表します。

城東地区社会体育振興会の益々の発展を心よりご期待申し上げます。

各家庭には、家具調テレビが有つたかも知れません。その頃、城東地区で初めて町内対抗ソフトボール大会が開催されると、地域の方に誘われて参加したのを機会に、バレー、卓球等次々と参加する楽しみが増えました。特に中央

体育館で行われたバドミントン大会は、当日参加した人でペアを組む混合ダブルスのみで、唯のレクリエーションだったかも知れませんが、上手な女性選手を体験しました。私の場合は羽根つきだつたかも・・・二年位で消滅したと思いますが、続けて欲しかった競技でした。

高崎市教育委員会では、生涯スポーツとして新種目のスポーツを幾つか開催する様になり、当地区でも紹介されました。

秋には高崎市の大会がありスマイルボーリングに町内四人の仲間と参加することになりました。

— 16 —

聖火の謎



第十三代会長
伊藤 巧

粹なアイデアである。

オリンピックの聖火は毎回オリンポスの丘で採火されるが、体育祭の聖火は毎回どこからリレーされてくるのか公表されてない。謎である。

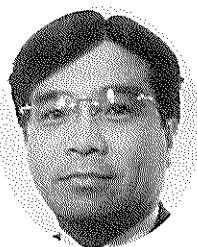
私は毎回自分で好き勝手にその聖火のルートを空想してみる。ばかばかしいと思えばそれまであるが空想するの自由で楽しいロマンがある。サンタクロースなんて・・・と思えばクリスマスも夢もロマンもなくなってしまうであろう。先人たちのロマンを大切にし、いつまでもいつまでも体育祭が続いて欲しいと願っている。そして城東地区体育祭の聖火の謎がいつまでも解けないで欲しい。

今年はオリンピックイヤー。オリンピック発祥の地ギリシャで開催される。徐々にオリンピックのムードが高まりつつある。オリンポスの丘で採火された聖火が日本も含め五大陸を巡り最後にアテネの競技場の聖火台に点火される。ファンファーレとともに開会式が一気にクライマックスに達する。今回はどうんな演出があるのか今から楽しみである。

聖火に代表されるように火は特別な意味を持っている。我が国でも昔から口うソクや松明などがさまざまな儀式や祭に使われてきた。

今年で三十回になる城東地区体育祭にも毎回、聖火リレーが取り入れられ開会式の雰囲気作りに欠かせないイベントになつてゐる。いつの頃から聖火リレーが取り入れられたのか、先人たちのとても

城東地区社会体育振興会
創立二十五周年によせて



第十四代会長
堀米秀夫

城東地区社会体育振興会が創立二十五周年を迎え心よりお祝い申し上げます。
私の社体振との出会いは、平成元年の

城東小PTAバザーのときでした。体育馆内で仕入れ品販売等を担当していました。恒例になりました城東地区三団体歓送迎会を企画したときも、当時の会長はじめ役員方々の協力で、盛大に開催を行うことができました。以後多くの社体振の事業に参加させていただきました。さまざまの大企画や大運動会、懇親会やダンスパーティー等活発に事業を行い、多くの地域の方々が楽しんでいました。また、

平成五年に行われた「城東小学校創立四十周年記念事業」においても、盆踊り大会で櫓を組んだり、設備を担当したり大変多くの方々に連日協力をしていただきました。さらに、社体振の協力事業として、「城東小学校創立四十周年記念チャリティーゴルフ大会」を企画、実行し、PTA本部役員も一緒にになって楽しく、有意義なゴルフ大会でした。

そんな折、平成十年に本部役員に推薦され副会長を仰せつかりました。平成十二・十三年には会長を経験させていただき、本当に多くの方が社体振を大切に思つてゐることが、とてもよく感じられま

した。

各大会において必ず先頭になつて活動を推進し本部の運営に協力的で、まさに「縁の下の力持ち」がおりました。それは歴史ある社体振の活動の中で培われた自信と誇りが感じられました。

高崎市制施行百周年の折りには、社体振会長として城東地区実行委員長を仰せつかり各団体とともにそれぞれの事業に協力し合い地域をあげて活動ができたことを思いだします。

思い出深い社体振の事業の一つとして、平成十三年十一月十一日に行われた、「バス研修旅行があります。」「栗の町小布施散策と長野善光寺参り」と題し、岩松院や小布施ワイナリーを見学し、小布施にて、「栗おこわ」をいただき、情緒あふれる町を散策しました。長野善光寺では、真っ暗闇の中での参拝、バスの中での楽しい宴会等、大変有意義な研修旅行でした。企画には役員が何度も知恵を出し合いました。いろいろな案がでました。何年ぶりかの研修旅行でしたが、多くの方に参加いただき、楽しめたことに感謝しております。

終わりに、社体振のすばらしいところは、人との繋がりを大切にし、自分のできることを進んで行い、協力的であるこ

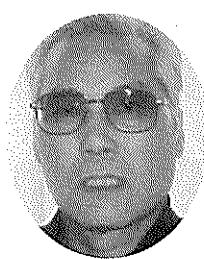
とだと思います。これからも多くの方が参加し、地域の財産として社体振の活動が繋がることを御祈念申し上げます。

人の目に見えない大変な仕事なのです。
頭が下がります。」

私は、只焼くだけのオヤジです。でも、反面熱い炎、油煙等により毎回指に火傷をしてしまったり、身体中にイカ焼きの匂いが染み付いてしまい車の中に残つたり、近所の猫たちが後についてきたりします。「普段は寄り付きもしないのですが。」

P.T.A.、育成会の役員さんが買いに来るときには、完売してしまうので前もつて予約していただければ買えると思いまして、検討してみてください。これらも社体振が長続きし、益々発展しますことを心より願っております。

城東小バザーに携わって



博
事公
理林
小

社体振創立二十五周年、群馬県社会体育優良団体表彰、誠におめでとうござい

ます。

一重に歴代会長、本部役員ほか協力者のご尽力の賜物と思っています。

私も栄町の育成会をスタートにいつの間にか長い歳月、社体振に携わって参りました。

城東小バザーのイカ焼き販売が開始されから、いつの間にかイカ焼きの担当者になつていきました。ただイカを焼くのではなく前日から他の担当者の皆さんが、冷凍イカを冷たい水で解凍し、ワタを取り除いてから、足を当分にカットしたりして翌日の段取りをするのです。「この仕事が

社体振と私



江
事君
理明
千

私が社体振活動に初めて参加したのは、「第二回体育祭」でした。

各町内の老若男女の人達が、力を合わ

せて楽しんでいた様子を見て、本当に「いい所」に越して来たと思いました。

程なく委員を引き受ける事になり、自分の感じた楽しさを、より多勢の人々に知つて欲しいと、「近所なじみ」を広げて行きました。

スポーツを通してのコミュニケーションが「健康」と「親睦」に加えて「安全」にもつながっていると信じて、情熱を持って活躍している多くの仲間に出会えた事が、私の一番の喜びです。



「城東小創立二十周年記念大運動会」の大きな看板が立てられ、校庭は人が溢れ大歓声と熱気で現在の阪神・巨人戦の様な盛り上がり様でした。昭和四十九年十一月十七日、曇りのことです。校区内を四ブロックに分け、応援の先頭に立つのは区長さん、選手は大

人も子供も男女の別なくブロックの旗のもとに汗まみれ泥まみれになつて一生懸命競技、どの顔もスポーツを楽しむ満足感で笑顔がはじけていました。

住民総出の大運動会は大盛況、大成功に終了。何日かしばらく間をおいて、公民館主事の神宮さんが、スポーツ指導している現場の私の所に時々姿を見せる様になり声を掛けられ、公民館に出向いた事から始まりました。

当時の城東地区育成会長 清塚繁氏と私は神宮主事から提案された話は、「地域総合型のスポーツ団体」を作りたい事、創立二十周年大運動会に刺激され、「これなら出来る」と感じたからだそうです。当時は文部相が一億総スポーツを提唱し余暇活動にスポーツをしましよう!の時代でした。

城東地域内で活動している各スポーツのグループを一括統括し、更に地域住民（老若男女）全ての人達にスポーツに親しんでもらい健康増進と親睦を図る事を目的とする「地域総合型スポーツ団体」を構想 発足する為に何をすべきか。

(一) 主軸母胎 区長会
(二) 活動資金 各町内戸数別補助金とする。

以上の二件を持つて神宮主事の案内で

区長会議に説明とお願いに伺う事四回、第一回は発足に当たつての内容の説明を主事が主に話した処迄はよかつたが、第二回の時は主旨に不賛同・補助金は出せない。

この時点でも好意的だった区長会長（結城氏）迄が責められる様になり、畠に額をすりつけ頭を下げても聞き入れてもらえず、第三回、第四回目には「誰に許しを得て来てるか。帰れ帰れ」と手で押し扱われる有様でした。腹の中で「犬や猫じゃないよ!」怒る。

区長会との話し合いは、平行線のまま中止となり、自分達の力で出来る事から始めることにし、用具は青少協でバーネットを購入、他は各自持ち寄り、育成会球技指導者九名に大会運営の協力を依頼、

ボートボール 春川宜充
ソフトボール 城田亨、川村光雄、
バレーボール 須田貢、渡辺寛子
育成会本部 清塚繁氏、棚山清司氏、
須田満男氏（当時、リトル野球はなかった）

○昭和五十一年十一月十四日、(城東地区球技大会)家庭婦人バレー大会を開催。

主催 青少年問題連絡協議会
参加数 十三チーム

参加費 一チーム千五百円（城東地区球技大会）

○昭和五十一年十一月三日

男子ソフトボール大会

主催 城東地区青少年問題連絡協議会

参加費 十八チーム、

参加費 一チーム千五百円

以上の球技大会を開催 多数のチームが参加し、実績を作る事が出来たことで、区長会の中にも補助金を捻出してもと考えてくれる町内会が出て、昭和五十三年には高崎市立中央体育館で第一回の発足球技大会が盛大に開催出来ました。

団体の組織としては未完成のまま二年間活動。実績を積み重ねて、その結果、会則が出来る。五十二年から三年にかけて草案から原案になりましたが、毎週集まって練りに練つてやつと完成。

昭和五十三年四月十四日、晴れて「城東地区社会体育振興会」が発足し、初代会長に金井正男氏が就任しました。

“思い出は深く残つて”

○昭和五十五年、三団体合同研修会企画、PTA、育成会、社体振の代表四十名が参加しました。会場は、榛名レイクホテルにて、一泊二日の日程で行いました。

前日午後三時から六時、翌日は九時か

ら十二時迄、スライドを使つて体験発表と白熱した全体討論を行いましたが、特に早朝の湖畔のサイクリングとマラソンは楽しかつたです。

昭和五十六年五月、会長を区長会長（広田平一氏）とする組織に変わりました。

○昭和五十六年男子バレーボール大会、十六チームが参加し、競馬場を会場に市

の公認審判員六名の協力を得て行つた大会は圧巻でした。

○昭和六十年バドミントン大会を開催。五十四名が参加。市立中央体育館、館内一杯のコートから溢れました。

次々に新種目の開催にも関わらず、大勢の方々の参加があり、益々地域の親睦が図れたよう思います。

振り返つて、苦労した事は数え切れない程あります。今は大切で一度と経験出来ない私の宝物、財産です。皆様に感謝します。

ソフトボーラーの思い出
ソフトボーラーの公認審判員を二十年になります。最初は、町内（江木三）の進行委員として、のちに理事になり、更に開口一杯のコートから溢れました。

次々に新種目の開催にも関わらず、大勢の方々の参加があり、益々地域の親睦が図れたよう思います。

振り返つて、苦労した事は数え切れない程あります。今は大切で一度と経験出来ない私の宝物、財産です。皆様に感謝します。

ソフトボーラーの公認審判員を二十年以上している関係で、社体振行事でも、主にソフトボーラー大会に関わつてきました。当初は、競馬場内のグランドで年二回（四月と八月）に行い、四月はレクリエーションが主体で、ソフトボーラーの経験者は、投手が出来ないとか、本格的なウンドミル投法は禁止などの制約をつけて楽しみ、二チーム参加した町内もあり、又、女子チームが参加する町内もあり、チーム数が多く、賑やかで、決勝戦が夕方までかかり、審判員として大変疲れたのを覚えています。

又、八月の大会は、秋の市民祭の「城



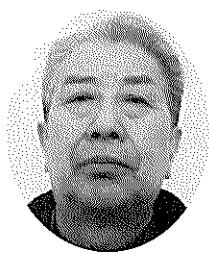
体育指導委員
高橋昌司

東校区代表」を決めるレベルの高い大会であり、一切の制約なしに、公認ルールで行いました。特に昭和五十年代の後半と記憶していますが、上中居チームが、市の大会で準決勝進出という輝かしい成績を上げました。

近年は、下大類の流通センターで、年一回（四月）の大会となり、女子チームの参加もなくなり、混成チームとなりましたが、健康増進のためにも楽しいソフトボール大会として続けていたらと思います。



ソフトボールの思い出



ソフトボール審判員
加辺 鉄男

早いもので二十八年前町内の川村氏にソフトボールの試合をするからと誘われ、城東小校庭へ。総勢五十名ほど集まつていました。服装はまちまちで背広に革靴でグローブを持っていた人さまざまでした。

赤城、榛名、妙義などのチーム別に練習試合を行い夢中になつた記憶が残っています。翌年には社会体育振興会が正式に発足し、会長に金井正男氏が選出されました。と同時に高関第三町内でも体育振興会を造り、二十五名ほどが名を連ねました。

ソフトボール大会は、盛大で十八町内はもとより二十チームの参加がありました。高関第三町内も十年ほどしてやつと念願かない優勝する事ができました。昭和五十九年には、審判の資格を取り、しだいに審判員として参加するようにな

りました。

近年では、参加チームも少くなりましたが、これからもソフトボールを盛り上げていきたいと思います。



思い出のティバルフェスツ



協力委員
鳴田百合子

浜川陸上競技場に於いて、秋に開催されるスポーツフェスティバルは、綱引き、グランドゴルフ、ターゲットバードゴルフ、フライングディスク、スマイルボウリングの五競技を、高崎市全校区の参加で毎年熱い戦いが繰り広げられています。もちろん我城東地区も四十名近くの参加者で毎年参加しています。でも参加するにあたり、その人集めが、いつも難を示し、やつと定員に達したと思うと、どこかで欠員が出て又補充してと、その繰り返しが間近まで続きます。

そんな時、いつも進んで人集めに協力してくれる役員さん達には、とても助かりますし、力強い存在です。お陰様で各競技も何かしら入賞する事ができ、ターゲットバードゴルフは、高崎市で優勝し県の大会へ出場できました。

私は、体を活かし毎年綱引きに参加しています。男女二十名（今は十五名）で引く醍醐味は格別で、一センチ、二センチの間を綱が行き来する感覺や、皆で一本の綱を引く楽しさは、やみつきになる競技です。成績はともかく皆さんとても賑やかに楽しんできます。

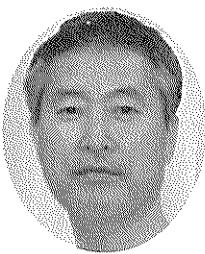
その間、色々なエピソードがありました。もうすぐ始まるのに、なかなか会場にたどり着かない人。戦力になる女性がある年、スリムになって現れた事。終わった後、バーベキュー大会になつた年。

公民館での打ち上げで、前日から仕込んだおでんやうどんの美味しかった事など楽しい思い出です。

でも一番は、競技に出場した人に「楽しかったよ。」と言つてもらう時は、参加してよかつたと思う瞬間です。

社体振創立二十五周年と社会体育優良団体表彰のおめでたい事が重なり、新たに地域活動に貢献された、これまでの役員さんの努力の賜り物と思うとともに、今まで参加された数多くの方たちに感謝の気持ちをこめて、これからも楽しく体を動かし、心と健康を磨くため城東の「輪」を益々広げていってほしいと思います。

体育祭にふれて



協力委員
石井 隆

私と社体振との出会いそのものも体育祭でした。

小学校の校舎も新しく出来上がった後でもあり、家内に誘われて体育祭に行つてみました。出られそうな競技に幾つも出て、町内の皆さんとこんな感じで気持ちが近くなり、楽しい汗をかきました。ちょうどお昼休み行つて（種目紹介？）フライングディスクに出て、有り難くも城東地区の選手に入れてもらい、浜川の市民スポーツフェスティバルにも出る事が出来ました。もちろん競技にも沢山参加して賞品を頂き、果物やお芋で家庭の台所が潤い自分の体力と健康に感謝でした。

素直なところ体育祭で感じた事は、中⼼になつて進めている人たちの笑顔が印象的で、何人かお見かけした人もいましたが、特に招集口では組み合わせを作り

ながら列を整えていた方がニッコリと、よ！また来たな・・という雰囲気で微笑んでくれたり、一人でも多くの人が参加できる様に編成しようよ！とスタッフ同士で一生懸命気持ちをぶつけていた方、退場口で“お疲れ様ー”と賞品を手渡す人など、皆さん姿に接してみて、この人たちの心の中には、何か使命感に満ちている様な純粹に地域のため、ここに来ているみんなの為にという思いで、いい汗を流しているんだないと、私の心中を揺り動かして頂いた思いでした。

今思いますとこの頃の皆さんとの出会いが、社体振の本部に入るきっかけへと繋がって行つた様に感じます。

有り難くも当時の会長（尼崎さん）より勧められ本部に入らせて頂き、私の初年度では開会式に聖火リレーを取り入れようという事になり、みんなの手作りで星野さんは聖火台を作り、私は聖火塔と点火台を作りました。初の聖火ランナーは女性で西口朱美さん（高関第一）の走る姿を思い出します。準備の過程で毎年それぞれ工夫をしてひと味違うものを出そうとしている雰囲気でした。

私もそれ以来ずっと放送関係を担当し、初めは学校から借りたテープを流していましたが、少しずつ自分で曲を集めて力

セットテープに編集したりしていました。ここ数年はパソコンを活用して曲収集を続け、競技にふさわしい曲が有るとチケットしておき・・今年はリズミカルにとか今年の昼には癒し系を入れてみようとか、

ちょっと構成を変え、あまり充分な時間は執れませんが、来て下さる方々の気持ちが“楽しくなつてもらえる様に”と言

う思いでさせてもらいました。今まで経験の無かつた地域活動を通して自分の経験やセンスを生かし、初めて

参加して頂く人や“おなじみさん”にとつても良き交流の場を提供できる様な社体振の存在でありますと願うものであります。

諸先輩方 有り難うございます。

魅惑の世界



協力員 土屋光子

数々の思い出の中でも私には忘れられない一こまがある。

私も参加した第8回運動会の仮装行列。女の一生という題で誕生から老いるまでの女の一生を表現した。男性が女性に仮装していく過程は実にお笑いの世界である。

試行錯誤の末、皆で完成させた手作りの衣装に袖を通し、顔は壁塗り同様、真っ白く厚化粧。そして真っ赤な紅でおちよぼ口を書いた。

他の人から見たら、決して美しいとは言い難かつただろうが、それなりの魅力

ある女性に仕上がり、その変身ぶりに、それぞれの男性は、うつとりし満足気であつた。

入場口より校庭中央にしなしなと進んだ。一瞬冷たい視線を感じたかのように思えたが、どつと笑いが起こつた。妊婦に仮装した杉田さんは気を良くして子供をここで産み落とすと言い出し、お腹に入れた大きな風船を割つて出産に見立てるパフォーマンスを披露した。そして実行委員の放送担当者から「只今、妊婦が

産気づき赤ちゃんが無事生まれました」と絶妙な解説に大きな拍手が沸いた。

その情景は二十年経つた今でも鮮明に覚えている。数枚のスナップ写真は、この先も私の宝物である。

いに過ごしました。

最後、善光寺で皆と記念写真に納まり、文化財見学。思わぬハプニングが、狂言師元彌さんに出会い、その場に居合せた方と記念写真を撮つて頂き、楽しい一日を過ごしました。

なにより皆元気で無事に帰宅できた事に安堵。協力関係者の皆様に感謝です。

「ありがとうございました。」

人間関係が稀薄になつた今の社会で、横の繋がりを密にする社体振の役割は大きいと思います。益々の発展を切に望みます。

研修旅行



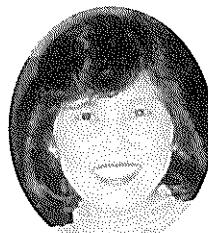
子
茂木 静子

総会等で研修旅行再会の意見有り、役員会議でも何年か議題に出でては実現出来ずにつつにあつた研修旅行が、平成十三年十一月十一日小布施に決定。

私は社体振、地域の方と一台のバスに乗り出かける事は初めてでした。城東公民館に集合・出発。バスの中は楽しい会話やゲーム・カラオケも、あつという間に到着。

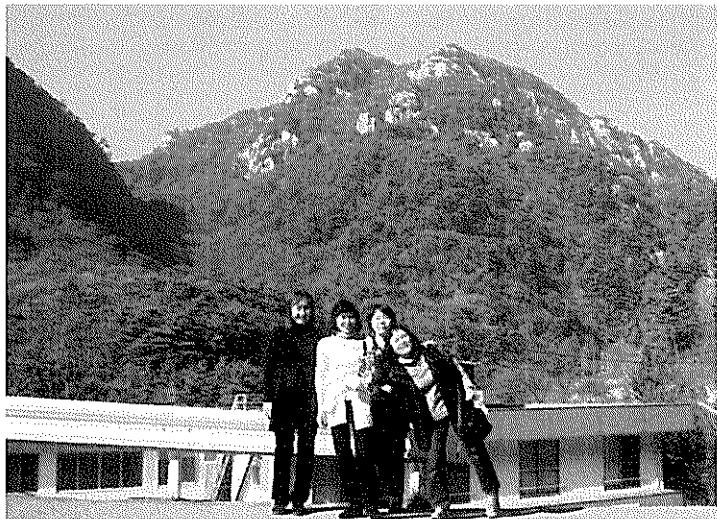
始めにワイナリー見学、試飲！美味しかった!!そして購入……我が家でも楽しんだ！小布施で昼食。栗ご飯食べ、自由時間は試食又試飲お土産も買ひ、思い思

思い出「研修旅行」



子
地澄 菊

役員として携わつて参りました私たちにとって、又、「社会体育振興会」に関わつた人達にとっても県より「社会体育優良団体表彰」を受けられました事は本当に喜ばしい事と思います。



地域活動の中で縦のつながり、横のつながりから沢山の方達と出会えた事によって、挨拶出来る人達が沢山増えました。思い出は数々あります。古い思い出では、東町のグランドで、盆踊り大会で楽しめて頂いたこと。

最近では、平成十三年十一月には小布施の研修旅行で善光寺に立ち寄った時のこと、丁度狂言師の和泉元爾氏に出会い、皆、少女に戻った時の様に近づいて

記念撮影をせがんでいました。

翌年十四年には、山梨の昇仙峡へは、夫婦で初めて参加させて頂き、バスの中でも自己紹介に始まり、昼食は外でバーべキュー、和気藹々に一日を楽しく過ごせました。

今後も運動は苦手でも、研修旅行なら、隣近所誘つて参加して見ようかなという人達もいます。是非役員の皆様方の今後のご活躍を期待致します。

後、中央体育館で練習試合をし、楽しく、心地良い汗を流したように記憶しています。

ただ、バドミントンはなかなかハードなスポーツですし、万人向きといかなかつたのだと思います。

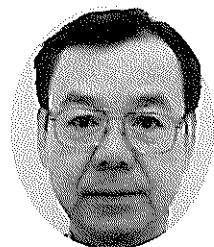
これからは、生涯スポーツの時代です。自分なりに楽しく健康的な汗を流せる、自分流のスポーツを是非搜して、いつまでも若く健康でいていただきたいと思います。

バドミントンの思い出



東町第一振興委員
有野良江

社会体育振興会二十五周年にあたり



江木五振興委員
志田克二

本部より校区でバドミントンした頃の思い出をという事でしたので、懐かしくペンを取ることになりました。

今から十七、八年位前になると思いますが、当時、本部役員で江木西にお住いでした木元さんやその他多数の役員さんのお世話で、城東小の古い体育館で、週一回、二時間程の練習を一年位続け、その

私が社体振の活動に参加したのは十二年前からでした。当時の江木五社体振は、休眠中より新たに替わった役員の下に参加させて頂きました。発足により活動が少しづつ活発になってきて、年間社体振のスポーツ参加に向けて会員と共に練習したことが懐かしく思います。

又、私は卓球が好きでしたので、その卓球大会の開催に携わることになりました。当時から、大会規約が城東ルールにより団体戦が必ず女子二名以上参加が義務付けられていたのが今日まで続いています。

このルールにより各町内の卓球人口も多くなり、町内で複数参加をして大会が盛り上がっています。

そして、個人戦についても最初は団体戦一回戦敗れたチームの人だけが参加していましたが、その後変更して全員が参加対象になり、今では個人戦申し込み制にして自分のレベルに併せて参加出来るようになつてきました。

これから卓球大会が地域の社体振会員の皆さんのが手軽にケガなく楽しく出来、技術の向上役立てて行けたらよいか模索するところです。

卓球大会がこの先も開催され地域スポーツの一翼を担えれば幸いだと思います。江木五社体振と城東地区社会体育振興会の継続と発展のためこれからも参加していきたいと思います。



栄町振興委員
春川宣充

毎年参加者も増え町内の活動も活発になりました。今、地域活動の大切さを感じております。

これからも「城東地区社会体育振興会」の益々の発展を心より願っております。

これからも「城東地区社会体育振興会」の益々の発展を心より願っております。

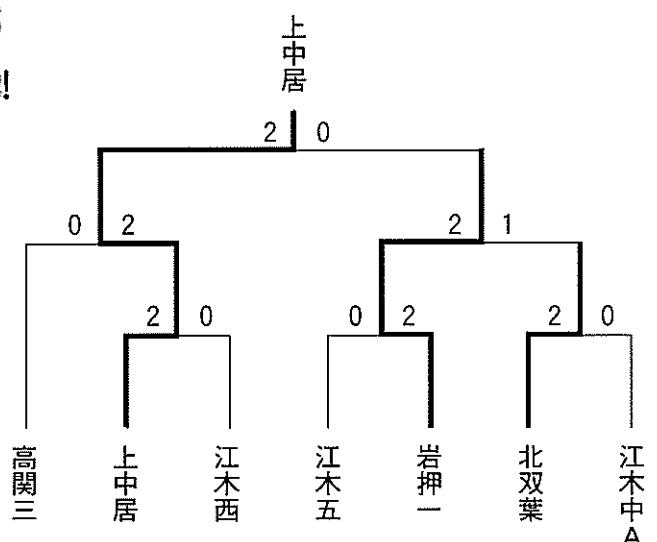
地域活動として二十五周年を迎える。昨年九月に群馬県教育長より「社会体育優良団体」として表彰を受け、素晴らしい事の限りです。心よりお祝い申し上げます。この光榮ある賞は、城東地区の諸先輩の功があつての事と感謝する次第です。

私も、二十五年の内のお手伝いできた事がとても嬉しく思います。私は、数年前より栄町の振興委員をお手伝いさせて頂いております。振興委員として社体振本部の皆さんの活動振りに感銘を受け、町内をまとめて行くために何か方法はないかと考えておりました。そして、世代間交流事業として、町内会長の了承を受け、町民の協力の元に夏に「納涼祭」、冬に「餅つき大会」を企画し、お年寄りから幼児まで楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

第一回城東家庭婦人バレー大会

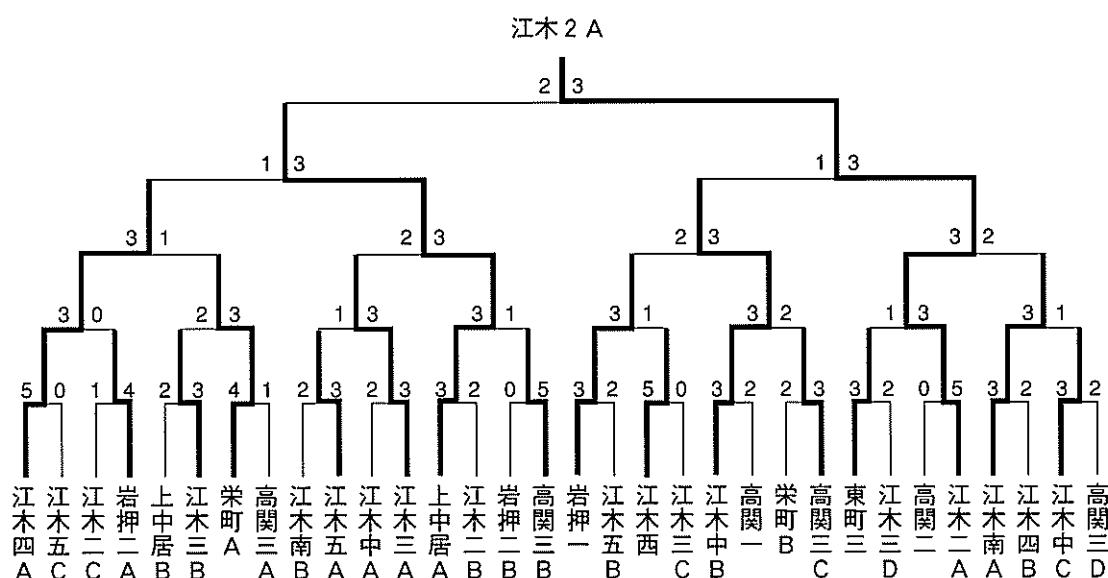
開始当時の
試合結果です！

昭和53年4月30日(日)
高崎市中央体育館



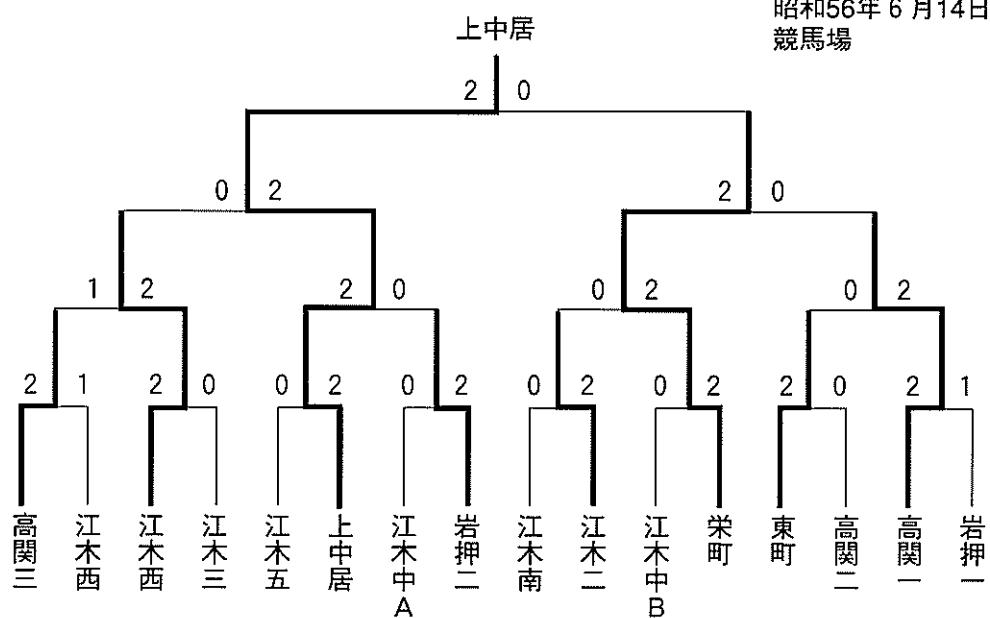
城東地区卓球大会

昭和54年6月17日(日)
城東小体育馆



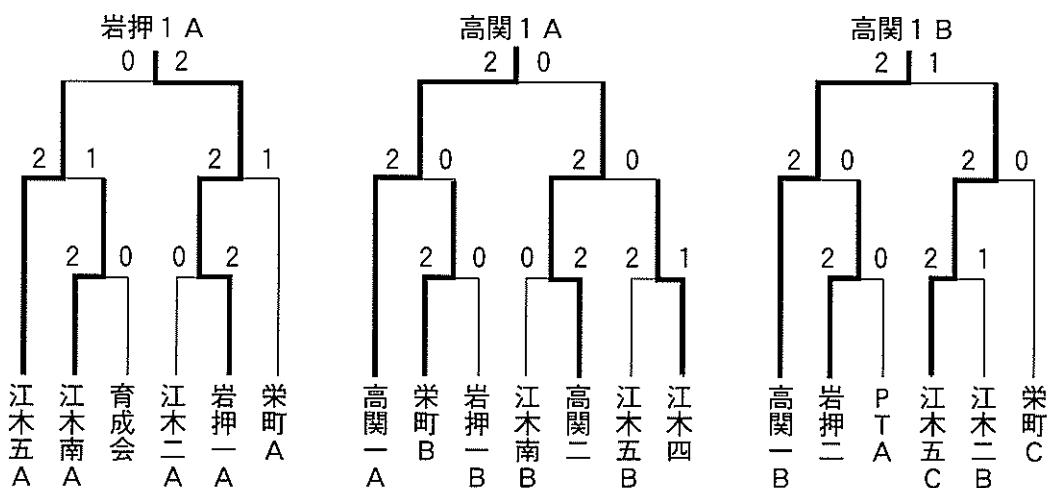
昭和56年度 夏季球技大会

昭和56年 6月14日
競馬場



平成11年度 城東地区ソフトバレーボール大会

平成11年 6月20日 (日)
城東小体育館



城東地区社会体育振興会の変遷

昭和五十二年度	創立準備委員会活動開始	城東地区社会体育振興会の会則（草案）	第一回納涼盆踊大会	慶弔規程の制定
昭和五十三年度	初代会長 金井正男 会則は、草案を参考に原案を採用し	城東地区社会体育振興会発足総会開催	第一回女子ソフトボール大会（平成三年迄）	平成二年度 会長 杉田健司
昭和五十四年度	会則を一部改正し、常任理事制へ	第一回家庭婦人バレー・ボール大会（継続中）	第一回新種目競技大会（継続中）	八年迄 第四号広報発行
昭和五十五年度	第一回卓球大会（継続中）	第一回男子ソフトボール大会（継続中）	第一回ゴルフコンペ（平成三年迄）	平成三年度 会長 田子茂雄
昭和五十六年度	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ボウリング大会（継続中）	第一回スキー・ツアード（平成三年迄）	第三回壮年体力測定（継続中）
昭和五十七年度	忘年パーティ（継続中）	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゴルフコンペ（継続中）	第一回市民スポーツフェスティバル参加
昭和五十八年度	昭和五十四年度 会長 金井正男 会則を一部改正し、常任理事制へ	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゴルフコンペ（平成七年迄）	平成四年度 会長 関口忠史
昭和五十九年度	第一回卓球大会（継続中）	第一回ボウリング大会（昭和六十二年迄）	第一回ゴルフコンペ（平成七年迄）	平成五年度 会長 尼崎計一
昭和六十一年度	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゴルフコンペ（平成八年迄）	平成六年度 会長 尼崎計一
昭和六十年度	昭和五十五年度 会長 広田平一 会則を一部改正し、副理事長の創設	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゴルフコンペ（平成八年迄）	平成七年度 会長 星野 嶽
昭和六十二年度	第一回卓球大会（継続中）	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゴルフコンペ（平成九年迄）	平成八年度 会長 星野 嶽
昭和六十三年度	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゴルフコンペ（平成九年迄）	平成九年度 会長 山田正男
昭和六十四年度	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゴルフコンペ（平成九年迄）	第一回納涼盆踊大会（継続中）
昭和六十五年度	高崎市ふるさと祭り（みこしで参加）	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゴルフコンペ（平成九年迄）	平成十年度 会長 山田正男
昭和六十六年度	第一回マラソン大会（昭和五十八年迄）	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゴルフコンペ（平成九年迄）	第一回納涼盆踊大会（継続中）
昭和六十七年度	昭和五十五年度 会長 金井正男 第二回壮年体力測定	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゴルフコンペ（平成九年迄）	平成十一年度 会長 伊藤巧
昭和六十八年度	新種目講習会（インディアカ・ミニバレー・ボール・リングテニス・フライボール他）	第一回ゲートボール大会（昭和六十二年迄）	第一回ゴルフコンペ（平成九年迄）	平成十二年度 会長 堀米秀夫
昭和六十九年度	第一回研修会（P.T.A・育成会と合同）	第一回盆踊大会（城東祭り）	第一回ゴルフコンペ（平成九年迄）	平成十三年度 会長 堀米秀夫
昭和七十一年度	昭和五十六年度 会長 広田平一 組織の一部改正し、区長会会长が会長理	第一回研修旅行（継続中）	第一回ゴルフコンペ（平成九年迄）	第十八回群馬県民スポーツ祭に高崎市代表として「ターニングバードゴルフ」出場
昭和七十二年度	事長に松本弘	第一回研修旅行（継続中）	第一回ゴルフコンペ（平成九年迄）	群馬県社会体育優良団体表彰 受賞
平成元年度	平成元年度 会長 杉田健司 祝賀会	第一回研修旅行（継続中）	第一回ゴルフコンペ（平成九年迄）	平成十五年度 会長 設樂祐五
		第一回研修旅行（継続中）	第一回ゴルフコンペ（平成九年迄）	平成十六年度 会長 反町 正
		第一回研修旅行（継続中）	第一回ゴルフコンペ（平成九年迄）	群馬県社会体育優良団体表彰受賞

昭和五十二年度 創立準備委員会設立

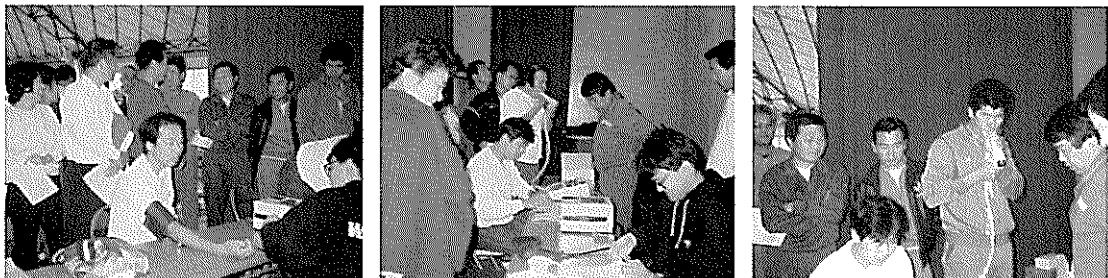
【準備委員十八名】

堀口久夫・松本弘・片野秀治・湯浅永司・重田三郎・坂入雅宣・井上智・永井久雄・神宮和夫

歴代の本部役員等

年 度	会長理事長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	書 記	書 記	会 計	会 計	会 計
昭和五三年度	金井正男	清塚繁	須田貢	須田貢	須田貢	須田貢	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫
昭和五四年度	金井正男	清塚繁	須田貢	須田貢	須田貢	須田貢	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫
昭和五五年度	金井正男	清塚繁	須田貢	須田貢	須田貢	須田貢	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫
昭和五六年度	広田平一	小野里又一	田中利一	清塚繁	須田貢	須田貢	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫
昭和五七年度	広田平一	小野里又一	田中利一	清塚繁	須田貢	須田貢	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫
昭和五八年度	松本弘	田中利一	清塚繁	須田貢	須田貢	須田貢	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫
昭和六十年度	堀口久夫	五十嵐敬	清塚繁	須田貢	須田貢	須田貢	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫
昭和六一年度	五十嵐敬	城田亨	五十嵐義雄	須田貢	須田貢	須田貢	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫
昭和六二年度	堀口久夫	柴崎晟	清塚繁	須田貢	須田貢	須田貢	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫
昭和六三年度	堀口久夫	杉田健司	須田貢	須田貢	須田貢	須田貢	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫
昭和六四年度	堀口忠史	城田欽平	田子茂雄	田子茂雄	田子茂雄	田子茂雄	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫
昭和六五年度	堀口計一	高橋昌司	星野巖	星野巖	星野巖	星野巖	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫
昭和六年年度	堀口計一	高橋昌司	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫	堀口久夫
昭和三年度	田子茂雄	城田欽平	堀口計一	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	吉井多美子	吉井多美子	吉井多美子	吉井多美子	吉井多美子
昭和四年度	堀口忠史	城田欽平	堀口計一	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	木元勝子	木元勝子	木元勝子	木元勝子	木元勝子
昭和五年度	堀口計一	高橋昌司	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	田中典子	田中典子	田中典子	田中典子	田中典子
昭和六年年度	堀口計一	高橋昌司	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	笠原求	笠原求	笠原求	笠原求	笠原求
昭和七年年度	星野巖	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	安藤ヨシ子	安藤ヨシ子	安藤ヨシ子	安藤ヨシ子	安藤ヨシ子
昭和八年年度	星野巖	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	山崎なを子	山崎なを子	山崎なを子	山崎なを子	山崎なを子
昭和九年年度	星野巖	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	吉井多美子	吉井多美子	吉井多美子	吉井多美子	吉井多美子
昭和十年年度	星野巖	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	飯塚幸子	飯塚幸子	飯塚幸子	飯塚幸子	飯塚幸子
昭和十一年年度	星野巖	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	北村純子	北村純子	北村純子	北村純子	北村純子
昭和十二年度	星野巖	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	堀口忠史	土屋光子	土屋光子	土屋光子	土屋光子	土屋光子
昭和十三年度	堀米秀夫	伊藤巧	伊藤巧	伊藤巧	伊藤巧	伊藤巧	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男
昭和十四年度	堀米秀夫	伊藤巧	伊藤巧	伊藤巧	伊藤巧	伊藤巧	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男
昭和十五年度	設樂祐五	小笠原敏	小笠原敏	小笠原敏	小笠原敏	小笠原敏	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男
昭和十六年度	反町正	堀口幸雄									
高木賢治	高木賢治	高木賢治	高木賢治	高木賢治	高木賢治	高木賢治	高木賢治	高木賢治	高木賢治	高木賢治	高木賢治
比良由美子	比良由美子	茂木静子	菊地澄子	田中てる子	石橋陽子	市川隆一郎	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男
比良由美子	比良由美子	茂木静子	茂木静子	佐藤栄一郎	佐藤栄一郎	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男
久保佐恵子	久保佐恵子	鶴田百合子	鶴田百合子	市川隆一郎	市川隆一郎	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男	堀口松男
菊地千代子	菊地千代子	比良由美子	比良由美子	堀口松男							
高津千春	高津千春	飯島由美子	飯島由美子	堀口松男							

● 体力測定

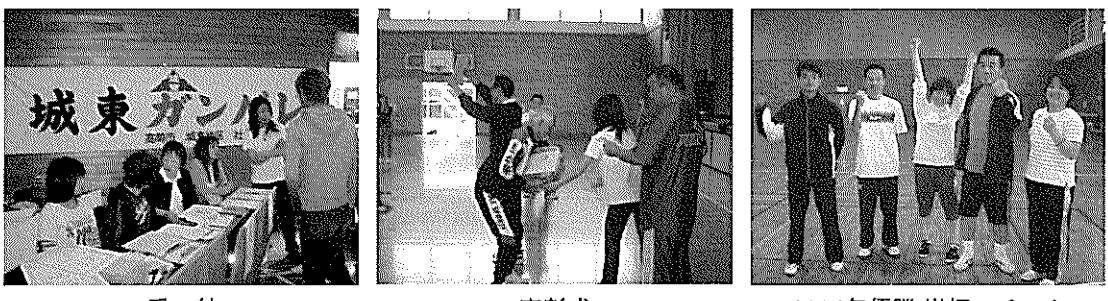


● ソフトボール大会（高崎総合地方卸売市場グランド）



2004年優勝 岩押一チーム

● 卓球大会



受付

表彰式

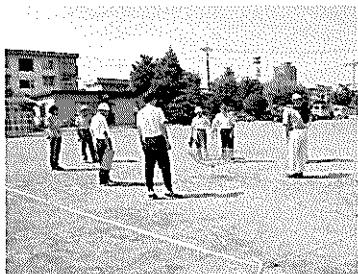
2004年優勝 岩押一チーム

● バレーボール大会

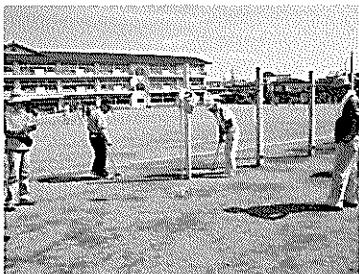


開会式

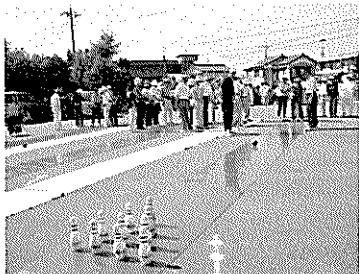
●スマイルスポーツ大会



ターゲットバードゴルフ



グランドゴルフ

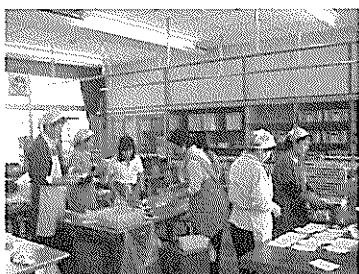


スマイルボーリング

●ふれあいバザー



餅つき



あんこ、きなこ、からみ餅



イカ焼き

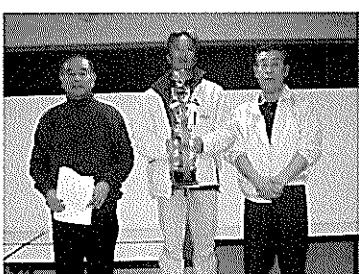
●ボウリング大会



2002年1月27日



2002年1月27日



2004年度

第三位 優勝 準優勝
五十嵐敬 山崎悟 石橋敏之

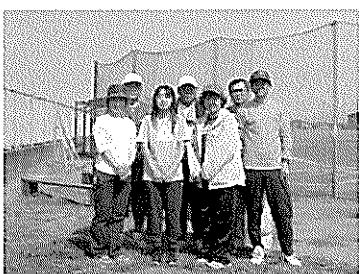
●スナップ



2001年1月28日
ボウリング大会



2002年4月28日
ソフトボール大会



2003年4月27日
ソフトボール大会

● 体育祭



編集後記

創立二十五周年記念誌の発行計画は特にありませんでしたが、平成十四年九月に群馬県教育長の『体育優良団体』として表彰されたのがきっかけで、ここに発行することになりました。

表彰が決定される前、体育指導委員の須田貢さんから「今回、高崎市スポーツ課で、県の優良団体表彰に当団体を推薦したいので、社会体育振興会の変遷から現在までの書類を整理して提出してもらいたい。」との連絡があり、本部役員を中心に公民館に集まり作業を進めました。

幸い、当初から携わった須田さんを始め、皆さんのご協力で具体的な活動の様子がわかるような資料が多く集まり、作成することができました。

諸先輩方々の築き上げた伝統ある社体振がこのような名譽ある表彰状を頂いた事を会議にて報告しましたところ、「四半世紀で区切りが良いので記念誌を発行してはどうか」と提案があり、出席者全員の賛同を頂き発行することになりました。

いざ始めてみると、なかなか意見がまとまらず、悪戦苦闘しましたが、何回か会議を開催し骨格ができました。しかし、皆さん仕事を持つており、時間がなく、なかなか編集作業に手間取り、当初計画より大幅に遅れてしましましたが、なんとか発行すりこぎできました。

二十五周年記念誌発行にあたり、ここにご投稿いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。また、永年にわたり社体振発展にご尽力を頂きました多くの先輩諸賢に対しまして深甚の敬意を表しますとともに関係各位のご指導、ご支援に心より感謝申し上げます。

折に触れ、城東地区の一員として二十五周年記念誌をとりだしていただければ幸いです。
以上編集後記とさせていただきます。有り難うございました。

平成十七年一月



城東地区社会体育振興会

副会長 比 良 由美子

・発行人／城東地区社会体育振興会　・発行者／設樂祐五　・編集／記念誌実行委員
・編集協力者／尼崎計一・星野 巍・山田正男・伊藤 巧・堀米秀夫・反町 正
　　堀口幸雄・石井 隆・神沢利之・高木賢治・比良由美子・菊地千代子
・発行日／平成17年3月12日　　　　　　　・印刷者／(有)松本孔版社